

LA CAGE  
AUX FOLLES

女なんて...ただ凹んでいるだけじゃないの...

●本年度アカデミー賞3部門  
(監督賞)(脚本賞)(衣裳デザイン賞)にノミネート!



ゴールデン・グローブ最優秀外国映画賞 / 他各国の  
映画賞を受賞した話題のオカマチック・コメディ!

# Mr.レディ Mr.マダム

ウーゴ・トニャッツィ ◆ ミシェル・セロー ◆ ミシェル・ガラブル  
クレール・モーリエ ◆ レミ・ローラン ◆ ルイザ・マネリ  
製作 / マルセル・ダノン ◆ 監督 エドアール・モリナロ ◆ 原作戯曲 ジャン・ポワレ  
音楽 エンニオ・モリコーネ (サントラ盤 セブンス・シーズ・レコード) ◆ 撮影 アルマンド・ナンヌツィ  
United Artists ユナイテ映画 (カラー作品)  
A Transamerica Company

〈カラー作品〉  
**United Artists**  
A Paramount Company  
 ユナイテッド映画

## ♥仏・全米で最高ヒットを記録した 決定版オカマ・コメディー!

夫の名はレナト。妻の名はザザ。結婚20年。遠目に見るとどこにでもいそうな幸せそうな中年カップル。が、ただ一つ並みの夫婦と違っていたのは、夫が男（これアタリマエ）であるのに対し、妻も男（これ異常）だったのです——!

'78年パリで記録破りの興行をスタートし、'79年米で外国映画史上最大のヒットとなった話題のオカマ・コメディ。抬頭(?)著しいオカマの世界を、フランス製らしい粋なエスプリで笑い飛ばした近來マレな抱腹絶倒編。本年度ゴールデン・グローブ外国映画賞、ナショナル・ボード・オブ・レビュー誌外国映画賞に輝き、アカデミー監督賞他三部門にノミネートされた掛値なしにオモロイ喜劇デス!

## ♥それは〈気狂いの檻〉で始まった!

舞台は夜の南仏サントロペ。純オカマ・クラブ〈気狂いの檻〉は、紳士・叔女の話題独占のナイト・スポット。経営者はレナト・バルディ(U・トニャッツィ)といい、この道20年。店の看板スターである“ザザ、ことアルバン(M・セロー)と愛の巣を構えている。二人の間には20オになる一人息子ローラン。レナトが昔の過ちでもうけた子で、当然アルバンとはなさぬ仲。ファミリーでは唯一マトモな存在だ。ある日、ローランが結婚話を持ちこんできた。相手はこともあろうにお堅いことで知られる明朗道徳党書記長シャリエ氏(M・ガラブル)の一人娘アンドレア。“男の園”に女が乗りこんでくる。アワテフタメクおかしなカップル、レナトとアルバン……!

## ♥落とせパウダー!直せ内マタ!?

問題は花嫁側にもあった。父親シャリエ氏がハナからこの結婚に反対なのだ。ところが、そこへ道徳党々首がモーターで腹上死するという椿事がボツ発。当然、党の威信が問われる大スキャンダル。書記長の立場としては何とか事実を藪の中にしなければならぬ。そこで閃いたのが娘の結婚を大々的に利用する手。早速先方の家へあいさつにうかがおうということになった。恋人から“家庭の異常”を知らされていた娘、突然の父親の変身に、思わず先方が外交官の家庭だと口走っていた……。

一方、事態の急転に〈気狂いの檻〉はテンヤワヤ。愛する息子のために、レナトはファミリー正常化作戦を開始した。が、どうにもならないのは、アルバンと、翔びすぎの黒人メイド、ジャコブの存在だった——!

## ♥至芸!三大名優の流し目!

見ものは何といっても、ヨーロッパ映画・演劇界を代表する名優たちによる絶品のオカマぶり。女人無用のオカマチックな一挙手一投足に思わず目をむくこと受け合い。中でもセローは、これで仏セザール賞、伊ダビッド・ディ・ドナテロ賞の各主演男優賞を手にしたというから本物。因みに三人ともオフ・スクリーンではまったくそのケはないとのことだから念のため。他にロミオとジュリエット・タイプの恋人たちに扮する新人レミ・ローランとルイザ・マネリが新鮮な魅力。原作はパリで7年目のロングに入った傑作舞台劇。監督はベテラン、エドアル・モリナロ(「プレステージ」)。音楽は売れっ子エンニオ・モリコーネが担当。大ヒットに気をよくして、早くもパート2製作が決定しているとか。



# Mr.レディ Mr.マダム



**LA CAGE  
AUX FOLLES**

### 〈キャスト〉

レナト・バルディ……………ウーゴ・トニャッツィ  
 アルバン(“ザザ”)……………ミシェル・セロー  
 シャリエ……………ミシェル・ガラブル  
 ローラン……………レミ・ローラン  
 アンドレア……………ルイザ・マネリ

### 〈スタッフ〉

製作……………マルセル・ダノン  
 監督……………エドアル・モリナロ  
 原作戯曲……………ジャン・ボワレ  
 撮影……………アルマンド・ナンヌッツィ  
 音楽……………エンニオ・モリコーネ

5月10日(土)のロードショー

新宿文化シネマ1 (354) 2097

\*特別鑑賞券¥1000(当一般¥1300の処) 学生¥1100 発売中!

●新宿伊勢丹前シネタウ  
 日・祝 10:45 平日 12:45 2:45 4:45 6:45